

平成24年度博物館事業	04	2. 展示事業	27
1. 各種調査・講座・教室	06	2-1 特別展・企画展・収蔵品展	27
1-1 各種講座等	06	2-1-1 展示事業	27
1-1-1 各種講座等の運営	06	2-1-2 展示事業一覧	28
1-1-2 実施講座等の一覧	07	3. プラネタリウム事業	29
1-2 ボランティア事業	14	3-1 プラネタリウム事業	29
1-2-1 ボランティア事業について	14	3-1-1 プラネタリウム事業	29
1-2-2 ボランティア事業一覧	15	3-1-2 プラネタリウム番組	30
1-3 子どものための博物館事業	18		
1-3-1 子どものための博物館講座(博物館ジュニア教室)	18		
1-3-2 子どものための博物館講座一覧	19		
1-4 講演会・研究会の運営	22		
1-4-1 講演会・研究会の運営について	22		
1-4-2 講演会・研究会の一覧	23		
1-5 資料調査	25		
1-5-1 資料調査	25		
1-5-2 資料調査事業一覧	26		

平成24年度博物館事業

平成3年7月に開館した葛飾区郷土と天文の博物館は、郷土の歴史・文化の分野と天文の分野を併設したユニークな博物館です。一見調和しにくい二つの構成ですが、来館される方々の興味と関心にしたがって、郷土の歴史・文化に触れたり、天文学にアプローチしたりと、大人から子どもまでが「楽しみながら学べる博物館」を目指して、博物館の運営をしてきました。

こうしたなか、葛飾区教育委員会では、平成20年11月に「葛飾区生涯学習振興ビジョン」を策定し、その中の重点施策の一つに「郷土と天文の博物館事業の推進」を掲げ、様々な事業を展開し、その充実に取り組んでいます。

平成24年度は、区制80年の節目の年を迎え、記念事業として郷土分野では3つの企画・特別展を開催しました。

春は、かつて葛飾区内にアトリエを設け、そこで代表作である「鏡獅子」を制作した、近代彫刻の巨匠 平櫛田中を取り上げた企画展「平櫛田中とかつしか」を、

夏は、葛飾区が誕生して80年、その移り変わりをテーマとした企画展「葛飾区80年 町・暮らしの移り変わり」を、

秋には、葛飾区の位置する東京低地の災害の歴史を振り返るとともに、東日本大震災被災地の状況を知っていただくことをテーマとした特別展「東京低地災害史」を開催し、大きな反響を呼びました。

一方天文分野では、東京では137年ぶりに見ることができる金環日食がありました。当日は早朝の観望会にもかかわらず、50人の募集に対し500人を超える応募があり、大いに盛り上がりました。

24年度は、郷土と天文の両分野で、印象深い1年であったと言えます。各事業の詳細については、それぞれの項目をご覧ください。

1. 各種調査・講座・教室

1-1 各種講座等

1-1-1 各種講座等の運営

平成24年度から、埋蔵文化財担当の学芸員が博物館に配属となり、拓本教室を新事業として実施しました。

金環日食観望会では、定員の10倍を超える応募があり、博物館開館以来最も倍率の高い事業となりました。館内ショップでは観察用メガネ1,500個が完売し、区内各所で金環日食を楽しむ方々の姿を見ることができました。

また、東日本大震災後の被災地「福島」の今を伝える講座を開催し、多くの方にご参加いただきました。



かつしか下町寄席

[p.09]



民俗学講座「楽しい正月を迎える」

(雑煮を学ぶ)

[p.10]



天体現象の観望会

(金環日食観望会)

[p.12]



1-1-2 実施講座等の一覧

歴史 | 歴史入門講座

目的・内容 「災害絵を読む」と題して、災害絵を題材にした初心者向けの歴史講座を開催しました。なまずえ災害かわら版・鯰絵などを読み、災害と人間について考えました。

回数 全3回

参加人員 延べ152人

歴史教養講座

目的・内容 「区制施行80周年記念特別展 東京低地災害史」の記念講演会を開催しました。「関東山地での大規模土砂災害と下町東京」と題して、歴史災害と東京低地の関連を学びました。

回数 1回

参加人員 90人

鉄道史講座Ⅵ

目的・内容 「食堂車を味わう」と題した鉄道講座。かつて食堂車は多くの列車に連結され、旅の楽しみの1つでした。食堂車の写真やメニューなどの資料から、食堂車の歴史を学びました。

回数 1回

参加人員 64人

館外講座(関東平野眺望バスツアー・那須編)

目的・内容 関東平野北部の地形と河川と那須火山と山麓の開発景観を訪ねるバスツアーと事前の学習会を開催しました。

回数 各1回

参加人員 延べ82人

館外講座(荒川源流バスツアー)

目的・内容 東京低地の重要な河川の1つである荒川の上流部とダム群を訪ねるバスツアーと事前の学習会を開催しました。

回数 各1回

参加人員 延べ92人

館外講座(吾妻川上流バスツアー)

目的・内容	榛名山の火山地形を見学し、ハッ場ダムなど吾妻川上流部を訪ねるバスツアーと事前の学習会を開催しました。
回数	各1回
参加人員	延べ92人

環境学講座

目的・内容	「福島の間－被災資料救出の現場から－」と題した講座を開催しました。東日本大震災後、福島で起こったこと、直面している問題を知り、歴史に学ぶ事の大切さをお伝えしました。
回数	1回
参加人員	85人

河川環境学講座

目的・内容	「利根川改変と耕地開発」と題し、関東平野の自然環境や、利根川本流が形成した東京低地の河川変遷史など、河川と人間の歴史を多角的に学ぶ講座を開催しました。
回数	全2回
参加人員	延べ168人

考古 考古学入門講座

目的・内容	「古人骨は語る 人類の誕生から現代人までの系譜」と題した講座を開催しました。古人類学の最新研究から人類の誕生と進化、さらに拡散、そして日本列島人の形成について解説しました。
回数	全3回
参加人員	延べ330人

かつしかを楽しむ

目的・内容	葛飾区に関わる歴史や文化を題材に葛飾の魅力について考える講座。「文芸から探るかつしか」「かつしかの地名と歴史」と題した2つの講座を開催しました。
回数	3回
参加人員	155人

街歩き

目的・内容	葛飾探検団の事業として、千住柳原界限、新小岩の街歩きを行いました。
回数	2回
参加人員	39人

地域史フォーラム

目的・内容	「古代東国と柴又八幡神社古墳」と題し、柴又八幡神社古墳の石室や埴輪・土器などを近隣地域の資料と比較し、柴又八幡神社古墳の歴史的 위치を検討するフォーラムを開催しました。
回数	1回
参加人員	65人

考古学セミナー

目的・内容	旧石器時代から近現代に至るまでの各時代像を考古学的に解説しました。
回数	全5回
参加人員	延べ305人

かつしか下町寄席

目的・内容	東京下町の暮らしと文化を、落語や芸能を通じて学ぶ講座を開催しました。(NPO法人と共同開催)
回数	3回
参加人員	215人

河川景観を学ぶ

目的・内容	荒川の川面の風景や街並みの河川景観の特徴を観察し、荒川流域の歴史や治水を学習しました。
回数	1回
参加人員	27人

東京大空襲と葛飾—山本亭防空壕跡の見学—

目的・内容	葛飾探検団が東京大空襲の都心部や葛飾の被害の様子を解説し、葛飾区内の戦争遺跡を訪ね、戦争について考えました。
回数	1回
参加人員	28人

民俗 民俗学講座「楽しい正月を迎える」

目的・内容	注連飾りや雑煮、七草粥作りを体験する講座を開催しました。
回数	全3回
参加人員	延べ86人

山村の食文化を学ぶ

目的・内容	葛飾区民による日本酒造りサークル「葛飾酒作り本舗」が米作りをしている福島県塙町の郷土料理、手作りこんにゃくと、こんにゃくを使った料理を作りました。
回数	1回
参加人員	39人

酒の文化を学ぶ

目的・内容	日本酒と食文化、日本酒の魅力と楽しみ方などを学びました。また、首都圏の酒蔵を見学しました。
回数	1回
参加人員	45人

農村の文化を学ぶ会

目的・内容	昭和20年代の葛飾区の農家で伝承されていた生活文化の体験を通してその意義を考え、現代と将来の生活への活用について考えました。
回数	全4回
参加人員	延べ128人

農業交流市

目的・内容	葛飾産の新鮮野菜と茨城県つくばみらい市の野菜販売を行いました。
回数	12回
参加人員	483人

葛飾祭り学

目的・内容	「富士講の歴史と民俗を学ぶ」と題した講座を開催しました。江戸時代、関東地方を中心に流行した富士浅間信仰の歴史を学び、現代も伝わっている富士講の様子を見学しました。
回数	全3回
参加人員	延べ165人

農業ファンクラブ

目的・内容	葛飾区内には現在も50軒以上の農家が生産を行っており、東京近郊の都市農業地帯として出色の存在となっています。この講座では、そうした農家をたずね、農作業体験や文化・風習を学びました。
回数	全7回
参加人員	延べ67人

川漁師ファンクラブ

目的・内容	江戸川の川漁体験を通して、人と川との交流の歴史について学びました。
回数	全7回
参加人員	延べ95人

民俗学講座「結婚しようよ」

目的・内容	日本の伝統的な結婚式の移り変わりを歴史的にひもとき、葛飾区などに古くから伝わっていた結婚式の民俗を紹介しました。
回数	全3回
参加人員	延べ35人

小麦の文化を学ぶ

目的・内容	小麦の収穫を体験し、農家の人と交流しながら小麦の食文化を学びました。
回数	1回
参加人員	21人

天文 星の講演会

目的・内容	天文学や関連分野の講師を招き、プラネタリウムの映像演出機能を活かした講演会。平成24年度は、「地球の水循環と地球観測衛星」「かつしかの月見」「太陽系外惑星」「次期月探査」「オリオン座のベテルギウス」をテーマに開催しました。
回数	5回
参加人員	564人

天体現象の観察会

目的・内容	金環日食、昼間の金星、金星の太陽面通過を観察しました。
回数	4回
参加人員	318人

民俗・天文 七夕の夕べ

目的・内容	七夕の星空と七夕の行事を学ぶ講座を開催しました。 (天文と民俗の共同事業)
回数	1回
参加人員	89人

文化財 文化財めぐり

目的・内容	葛飾区内の文化財を文化財保護推進委員の解説で巡りました。
回数	3回
参加人員	152人

文化講座

目的・内容	「葛西ばやしの世界」と題し、東京都無形文化財「葛西囃子(かさいばやし)」の実演と解説を行いました。
回数	1回
参加人員	60人

埋蔵文化財

遺跡調査体験教室－拓本教室－

目的・内容	区内で出土した土器の文様を紙に写し取る体験学習を行いました。
回数	3回
参加人員	96人

1-2 ボランティア事業

1-2-1 ボランティア事業について

博物館では200人を超えるボランティアの皆さんが、民俗・考古・天文の各分野の事業で活躍しています。

特に、5月5日と11月3日の博物館無料開放日には、ボランティアの皆さんが工夫を凝らしたブースを設け、来館者の方々に楽しんでいただいております。博物館の名物事業になっています。

このほか、天文ボランティアが担当している星空観望会「星空散歩」や「ギャラリートーク」は年々、参加者が増える傾向にあります。また、PTAや町会などの要請に応じて、学校や公園などで望遠鏡で星空を観察する「移動観望会・出前観望会」も好評を得ています。



田んぼサポーター
[p.15]



博物館まつり
[p.17]

1-2-2 ボランティア事業一覧

考古 | 葛飾考古学クラブ

目的・内容

発掘調査から収蔵資料の整理、活動成果の展示、遺跡調査報告会の開催など、一貫した調査研究を行いました。

回数

全24回

参加人員

延べ495人

葛飾探検団

目的・内容

葛飾やその周辺をフィールドとして、住宅・店舗・工場などの建物や産業、川・道・路傍の碑・寺社などを訪ねながら、近代以降の葛飾の暮らしや文化の変遷を調査・記録しました。

回数

全30回

参加人員

延べ353人

民俗 | 田んぼサポーター

目的・内容

米作りや野菜作りを学ぶ講座です。あわせて、子どもを対象とした農業体験教室「田んぼクラブジュニア」「畑クラブジュニア」(p.19)の指導支援も行いました。

回数

全19回

参加人員

延べ193人

天文 | かつしか^{そら}宙トーク

目的・内容

23年度まで実施していた天文学入門講座をより親しみやすく、わかりやすくした天文講座を開催しました。

回数

4回

参加人員

147人

かつしか星空散歩

目的・内容

ボランティアの指導による星空観望会を毎週金・土曜日に開催しました。

回数

90回

参加人員

3,102人

移動観望会

目的・内容	小学校や地域の夏祭り、夜間中学校などで観望会を実施しました。
回数	3回
参加人員	568人

太陽観察会

目的・内容	当館前で太陽望遠鏡による太陽の観察会を実施しました。
回数	6回
参加人員	800人

天体観測事始め

目的・内容	小型の望遠鏡を使い、実際に個人でできる天体観測の方法を学ぶ観測会を実施しました。
回数	3回
参加人員	17人

天文ボランティア研修

目的・内容	新人ボランティア向けに研修会を実施しました。
回数	全8回
参加人員	延べ193人

青空散歩・ギャラリートーク

目的・内容	ボランティアによる望遠鏡で昼間の星を見る青空散歩と、天文展示の解説を行いました。
回数	6回
参加人員	1,049人

おとなのための宇宙塾

目的・内容	小学4年生を対象に宇宙の勉強をする教室「かつしか宇宙塾ジュニア」(p.21)に参加した保護者向けに、星座や太陽について勉強する講座を開催しました。
回数	全5回
参加人員	延べ171人

総合 博物館まつり

目的・内容	5月5日と11月3日の無料開放日に、ボランティアグループが日頃の活動の成果を発表するとともに、一般の人に博物館活動の紹介を行いました。
回数	2回
参加人員	1,394人

1-3 子どものための博物館事業

1-3-1 子どものための博物館講座（博物館ジュニア教室）

当館の子ども向け事業は、座学よりも自分で触れて・感じる「体験」に重点を置いています。春の種まき・夏の草刈り・秋の収穫・冬の収穫物を料理して食べるといった年間を通じて実施する講座が多いことも特徴です。

夏休みには、かつて葛飾区でも当たり前にあった自然を体験するキャンプや、子どもたち自身で望遠鏡を作る講座を実施しました。



かつしか調査隊（竹とんぼチャンピオン大会）

[p.19]



星の学校

[p.21]

1-3-2 子どものための博物館講座一覧

歴史 | 人車ペーパークラフト

目的・内容	帝釈人車鉄道のペーパークラフト模型作りの講座を開催しました。
回数	2回
参加人員	72人

考古 | かつしか調査隊

目的・内容	伝統文化などを学ぶ体験事業を開催しました。(今戸焼、竹とんぼ作り、ミニ門松作りなど)
回数	8回
参加人員	450人

学習支援出前講座

目的・内容	区内小学校などで縄文時代の体験や今戸焼き作りを行いました。
回数	4回
参加人員	347人

民俗 | 田んぼジュニア

目的・内容	田植え、稲刈りなどの稲作体験講座を開催しました。
回数	全10回
参加人員	延べ274人

畑ジュニア

目的・内容	野菜植え付け、収穫などの畑作体験講座を開催しました。
回数	全5回
参加人員	延べ86人

江戸川野遊び道場

目的・内容	葛飾区にとって故郷の川である江戸川流域の自然を体験し、河川とともに発展した「葛飾」のなりたちを学び、郷土を愛する心を育む講座を開催しました。
回数	全9回
参加人員	延べ385人

手作りおもちゃ教室

目的・内容	竹を材料にナイフを使って、コップや箸、お皿などを作る体験をしました。
回数	1回
参加人員	43人

農村体験キャンプ

目的・内容	茨城県つくばみらい市でのキャンプを通して、農村の生活・文化を体験しました。
回数	1泊2日
参加人員	51人

山村の夏休みツアー

目的・内容	福島県塙町で山村の暮らしと文化を体験するツアー。清流で生き物観察や山女のつかみどりなど水遊びをし、幻の盆踊り「ハネッコ踊り」を習いました。
回数	1泊2日
参加人員	43人

体験イベント

目的・内容	昔に行われていた行事を来館者が体験する事業を開催しました。(七夕かざり)
回数	1回

歴史・考古・民俗

かつしか郷土塾

目的・内容	小学校5～6年生を対象に、かつしかの歴史や自然、文化、農業などを学ぶ講座を開催しました。
回数	全3回
参加人員	延べ18人

天文

望遠鏡をつくろう

目的・内容	小・中学生を対象として、天体に興味をもち天体観測を楽しむことを目的に、望遠鏡の工作と使い方や仕組みを紹介する教室を開催しました。
回数	4回
参加人員	366人

星の学校

目的・内容	小学生を対象に、短期集中で星や宇宙について学ぶ教室。夏休み、冬休み、春休みの三季休業期間にあわせて実施しました。
回数	全6回
参加人員	延べ228人

かつしかスペースカレッジ

目的・内容	中学生を対象にプラネタリウムを活用し、宇宙について学びました。
回数	全2回
参加人員	延べ11人

かつしか宇宙塾

目的・内容	小学校5～6年生を対象にプラネタリウムを活用し、宇宙への夢を育み、科学への関心を高める事業を開催しました。
回数	全6回
参加人員	延べ714人

かつしか宇宙塾ジュニア

目的・内容	小学校4年生を対象に、教科書だけで理解することが難しい天体の空間的な動きや宇宙の広がりについて、プラネタリウムを活用し、宇宙や科学への興味・関心を高める事業を開催しました。
回数	全5回
参加人員	延べ535人

博物館まつり

目的・内容	5月5日と11月3日の無料開放日に、ボランティアグループが日頃の活動の成果を発表するとともに、一般の人に博物館活動の紹介を行いました。
回数	2回
参加人員	1,394人

1-4 講演会・研究会の運営

1-4-1 講演会・研究会の運営について

特別展や企画展の会期中に関連する講演会を開催しました。区制施行80周年記念特別展「東京低地災害史」の会期中には東日本大震災を中心に津波、土砂災害などをテーマにした講演会と歴史教養講座を開催しました。また、区制施行80周年記念企画展「平櫛田中とかつしか」の会期中には、講演会とバスツアーなどの記念イベントを開催しました。

このほか、NHKと共催で「大英博物館古代エジプト展」と「美術にふるっ! ベストセレクション 日本近代美術100年」と「エルグレコ入門～展覧会をより楽しく見るために」の関連文化講演会を開催し、好評を博しました。



企画展記念イベント
(紙芝居「田中ものがたり」)

[p.23]

1-4-2 講演会・研究会の一覧

文化講演会

目的・内容

NHKと共催で「大英博物館古代エジプト展」「美術にふるっ! ベストセレクション 日本近代美術100年」「エルグレコ入門～展覧会をより楽しく見るために」の関連文化講演会を開催しました。

回数

3回

参加人員

363人

特別展記念講演会・歴史教養講座等

目的・内容

区制施行80周年記念特別展「東京低地災害史」(p.28)の関連イベントとして、講演会「東日本大震災の津波の教訓と安政江戸地震による詳細震度分布」と歴史教養講座「関東山地での大規模土砂災害と下町東京」、「いいおか津波被害を語る会」を開催しました。

回数

3回

参加人員

215人

企画展記念講演会

目的・内容

区制施行80周年記念企画展「平櫛田中とかつしか」(p.28)の関連イベントとして「祖父平櫛田中の思い出」、「平櫛田中と鏡獅子」と題した講演会を開催しました。

回数

2回

参加人員

191人

企画展記念イベント

目的・内容

区制施行80周年記念企画展「平櫛田中とかつしか」(p.28)の関連イベントとして、バスツアー「平櫛田中の足跡を訪ねて」、見学ツアー「平櫛田中とかつしか」、紙芝居「田中ものがたり」、ギャラリートークを行いました。

回数

4回

参加人員

137人

葛飾区遺跡報告会

目的・内容	葛飾区内遺跡の現状を報告しました。
回数	1回
参加人員	56人

葛飾区遺跡報告会記念講演会

目的・内容	「戦国時代の考古学」と題し、戦国時代の城館の発掘を通して明らかになった城館の構造や武家の暮らしぶり、しきたりを解説しました。
回数	1回
参加人員	84人

花菖蒲研究会

目的・内容	葛飾区の区花である花菖蒲の植替えなどの栽培技術や室内展示方法について紹介する研究会を、日本花菖蒲協会との共催で開催しました。
回数	1回
参加人員	41人

1-5 資料調査

1-5-1 資料調査

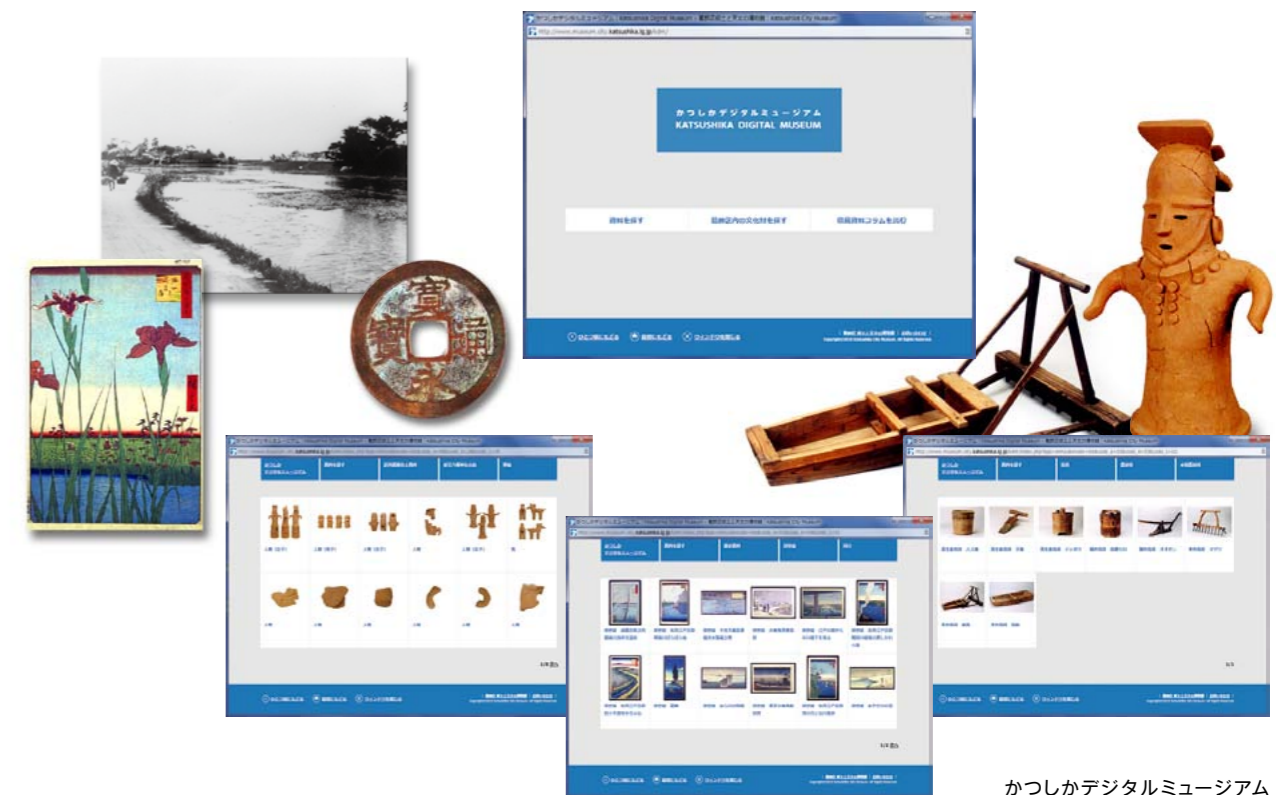
葛飾区郷土と天文の博物館は、郷土の歴史に関する調査を進めており、学芸員をはじめ専門調査員は、様々な角度から区の歴史の解明にアプローチしています。

歴史の資料調査は、文献資料などの所在を調べ、整理し、解説、活字化、フィルム化する作業を実施しました。

また、考古学では地下に埋もれている遺構や遺物に加えて、発掘によって得られた遺物などの資料を整理・分析する作業を進め、郷土の歴史の解明に努めてきました。

一方、民俗学は暮らしの中で伝えられてきた行事や習慣から文化の成り立ちの変遷を探るとともに、年中行事などの伝統行事の調査や記録化、農業や産業・伝統技術の調査研究を進めてきました。

さらに、寄贈・収集した資料の整理を進め、平成23年4月からは、博物館のウェブサイトでもデジタルミュージアムとして、収蔵資料を公開しています。



かつしかデジタルミュージアム

1-5-2 資料調査事業一覧

歴史資料調査

目的・内容	葛飾区に関連した史・資料の所在調査及びフィルム化、デジタル化を行いました。
概要	花菖蒲・人車・水害関連絵図などの調査を行いました。

考古学学術調査

目的・内容	葛西城址第3次学術調査を実施し、現地説明会や発掘教室を行いました。
概要	館内では、柴又八幡神社古墳や葛西城址第2次調査の整理を行いました。

考古学専門調査

目的・内容	葛飾の収蔵品及び今土焼などの窯業関連資料の記録化を行いました。
概要	寄贈資料、館収蔵資料の調査を行いました。

民俗資料調査(共同研究)

目的・内容	葛飾区に関わる身近な民俗を調査し、資料の保存を図りました。
概要	東京低地と北総台地の伝統的な暮らしの調査を行いました。

2. 展示事業

2-1 特別展・企画展・収蔵品展

2-1-1 展示事業

平成24年度は、区制施行80周年を記念して特別展1本と企画展2本を開催しました。

春から夏にかけては、近代彫刻の巨匠である平櫛田中の芸術や人となり、また葛飾区にあったアトリエの様子などを紹介した企画展「平櫛田中とかつしか」を開催しました。

つづいて、葛飾区が誕生してからの80年を振り返り、町並みや人々の暮らし、出来事を紹介する企画展「葛飾区80年 町・暮らしの移り変わり」を開催しました。

さらに秋には、17世紀以降の東京低地が立地する関東平野における歴史災害の検証を試みた特別展「東京低地災害史」を開催しました。

そのほか、年度末には、寄贈・収集した資料を展示した「収蔵品展」と考古学ボランティアの活動の成果を展示した「活動成果展」を同時に開催しました。



区制施行80周年記念企画展
「平櫛田中とかつしか」
[p.28]



区制施行80周年記念企画展
「葛飾区80年 町・暮らしの移り変わり」
[p.28]



区制施行80周年記念特別展
「東京低地災害史」
[p.28]

2-1-2 展示事業一覧

区制施行80周年記念企画展「平櫛田中とかつしか」

内容	葛飾ゆかりの芸術家であり、近代彫刻の巨匠である平櫛田中が、区内で作品を制作していた時代を回顧しました。
会期	平成24年5月26日～平成24年6月17日
観覧者数	4,256人

区制施行80周年記念企画展「葛飾区80年 町・暮らしの移り変わり」

内容	区制施行80周年という節目に当たって、都市近郊農村であった葛飾区が、どのように都市化してきたのかを振り返り、そのようすを物語る写真やゆかりの資料を紹介しました。
会期	平成24年7月28日～平成24年9月9日
観覧者数	10,792人

区制施行80周年記念特別展「東京低地災害史」

内容	17世紀以降、東京低地が立地する関東平野における歴史災害の検証を試みました。
会期	平成24年10月7日～平成24年11月25日
観覧者数	9,272人

葛飾写真館「かつしか昭和の風景7」

内容	葛飾探検団が収集した葛飾に関する昭和の風景が知られる写真を展示しました。(活動成果展と同時開催)
会期	平成25年3月10日～平成25年5月11日
観覧者数	7,361人

考古学ボランティア活動成果展

内容	考古学ボランティアの活動の成果を展示しました。(収蔵品展と同時開催)
会期	平成25年3月10日～平成25年5月11日
観覧者数	7,361人

3. プラネタリウム事業

3-1 プラネタリウム事業

3-1-1 プラネタリウム事業

プラネタリウムは、季節ごとに番組の入れ替えを行っており、春はクラシック音楽に耳を傾けながら宇宙を旅する「シンフォニー・オブ・ユニバース 第4番」、夏は定番となったクイズに答えながら宇宙を巡る「クイズ! スター&プラネット」、秋は「第二の地球をもとめて」、冬は「マーズ・エクスプローラー 火星の大地をめぐる」を制作しました。

このほか、音楽を聴きながら星空を楽しむ「ミュージックプラネット」を4番組制作しました。



シンフォニー・オブ・ユニバース 第4番
[p.30]



マーズ・エクスプローラー 火星の大地をめぐる
[p.30]



プラネタリウムコンサート
[p.31]

3-1-2 プラネタリウム番組

春番組「シンフォニー・オブ・ユニバース 第4番」

内容	クラシックの名曲とデジタルプラネタリウムの映像が一体となった番組シリーズの第4作。今回は「遙かなる銀河宇宙」をテーマとし、天の川が見えない方向には、銀河系の外側の世界を見通すことができることを紹介しました。
期間	平成24年4月21日～平成24年7月16日
観覧者数	4,667人

夏番組「クイズ! スター & プラネット2012」

内容	座席のボタンを使った観客参加型のクイズショー。今回は「イリュージョン」をキーワードに、地動説、火星の空、恒星の固有運動、月までの距離に関する話題をクイズとともに紹介しました。
期間	平成24年7月21日～平成24年9月2日
観覧者数	4,390人

秋番組「第二の地球をもとめて」

内容	発見が相次いでいる太陽系外惑星について、アメリカのケプラー宇宙望遠鏡の最新の観測成果をデジタルプラネタリウムで映像化しながら解説しました。
期間	平成24年10月6日～平成24年12月27日
観覧者数	2,523人

冬番組「マーズ・エクスプローラー 火星の大地をめぐる」

内容	火星探査の最新情報や、火星の地形の特徴を、日本で初めて導入したデジタルプラネタリウム用GIS(地理情報システム)を駆使して紹介しました。
期間	平成25年1月19日～平成25年4月19日
観覧者数	3,447人

特別企画番組「金環日食」

内容	平成24年5月21日の金環日食に向けた特別番組。日食とは何か、観察の方法、宇宙から見た日食の時の地球の様子などを、プラネタリウムの映像を使いながら解説しました。
期間	平成24年3月3日～平成24年5月27日
観覧者数	3,033人

アンコール・スペシャル

内容	9月上旬から10月上旬にかけて、過去に放映した季節の番組5本、ミュージック・プラネット2本を集中的に放映しました。
期間	平成24年9月8日～平成24年10月5日
観覧者数	1,608人

ミュージック・プラネット

内容	音楽と星空の話題を楽しむ番組です。夏は「つなく」、秋・冬は「めぐる」、春は「色」をキーワードに、3つのコーナーを展開しました。また、12月には「メッセージ」をキーワードにしたクリスマス・エディションも放映しました。
期間	通年116回
観覧者数	7,221人

アンコールアワー

内容	過去に放映した季節の番組を放映。今年度は「シンフォニー・オブ・ユニバース第3番」「クイズ! スター & プラネット2011」「シンフォニー・オブ・ユニバース第2番」「宇宙創世」「オーロラ」「アーススケープ」を放映したほか、1月には「シンフォニー・オブ・ユニバース」の第1番から第4番を集中的に放映しました。
期間	通年144回
観覧者数	8,313人

プラネタリウムコンサート

内容	星空と映像と解説と生演奏が一体となったコンサートです。今年度はギリシア神話朗読劇(5月)、スウィングジャズ(6月)、サクストリオ(8月・2回)、ボサノバ(10月)、クリスマスソング(12月・2回)、70年代ポップス(2月)を開催しました。
期間	年間8回開催
観覧者数	1,017人

こども番組

内容	幼児～小学校低学年向けの番組です。七夕、お月見、クリスマス、惑星旅行の4種類を、季節に合わせて放映しました。
期間	通年48回
観覧者数	2,706人

団体放映

内容	一般団体向けの放映
期間	通年
観覧者数	690人

学習放映

内容	小学校4年・中学校の理科授業として、プラネタリウムを利用して天体の運行を学習します。また、幼稚園・保育園の季節行事等に合わせた番組も放映します。さらに、高校、聾学校・盲学校・インターナショナルスクール向けにも、各学校のニーズに合わせた番組を放映します。
期間	通年
観覧者数	14,476人